

AMED データ利活用プラットフォームにおけるデータ利活用ポリシー 新旧対照表 (傍線の部分は改正部分)

改定後 (案)	改定前 (現行)	備考欄
第 1 章～第 6 章 (略) 別紙 1 利活用個人データ及びメタデータの具体 利活用個人データ及びメタデータの具体を以下に示す※1。 【利活用個人データ】 一般住民及び各種疾患患者から得られたゲノム解析データセットのシークエンスデータ (FASTQ データ)、BAM 又は CRAM ファイル、VCF ファイル及びゲノムデータに付随する臨床基本 4 属性情報 (年齢、性別、居住地域または出生地域、疾患名および疾病コード (ICD-10※2))。バイオバンクジャパン、東北メディカルメガバンク、ナショナルセンターバイオバンクネットワーク、健康長寿社会の実現を目指した大規模認知症コホート研究及び日本多施設共同コホート研究 (J-MICC) が保管する DNA を解析した全ゲノム配列データである。 (略) ※1 令和 7 年度以降は、ゲノム以外のデータの利活用の推進も検討している。 (略) 別紙 2 (略)	第 1 章～第 6 章 (略) 別紙 1 利活用個人データ及びメタデータの具体 <u>令和 6 年度における、利活用個人データ及びメタデータの具体を以下に示す※1。</u> 【利活用個人データ】 一般住民及び各種疾患患者から得られたゲノム解析データセットのシークエンスデータ (FASTQ データ)、BAM 又は CRAM ファイル、VCF ファイル。<u>令和 5 年 10 月 13 日時点、</u>バイオバンクジャパン、東北メディカルメガバンク、ナショナルセンターバイオバンクネットワークが保管する DNA を解析した <u>23,211 検体の全ゲノム配列データ</u>である。 (略) ※1 令和 7 年度以降は、ゲノム以外のデータの利活用の推進も検討している <u>(P) (令和 6 年度末にデータを搭載予定)。</u> (略) 別紙 2 (略)	時点情報の削除 データセットの追加 時点情報の削除 検体数の削除 (P) 以下の削除